

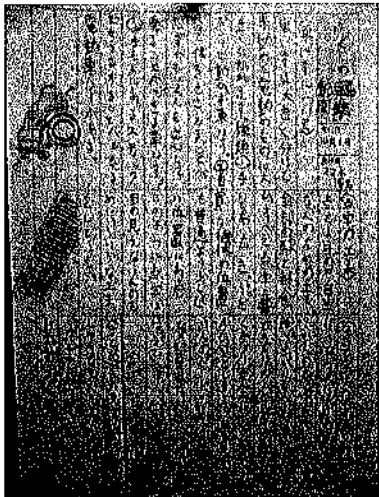


令和3年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立起小学校	学校NO.	33
<p>1 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標 高齢者や障害、病気、けがのある人たちにとって、住み良い社会とはどんな社会なのかを調べ学習を通して考え、自分たちができることを調査・追究することができる。 ・ 計画 福祉について考えよう 新聞にまとめよう ・ 推進体制 障害や重篤な病気やけがのある人について理解を深める学習を5年生中心に推進する。 福祉教育部会を組織し、各学年と調整して計画を具体的に推進する。 			
<p>2 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉について考えよう（1学期） <ul style="list-style-type: none"> 「福祉」をテーマに各自の追及したいテーマを決め、同じテーマの児童とグループを作り、調べ学習を行った。調べる際、社会福祉協議会などから発行されたパンフレットや冊子を始め図書室にある本、インターネットなどを活用した。テーマは以下の内容であった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者・知的障害・肢体不自由・学習障害・車いす・聴覚障害・視覚障害・道具 ・ 盲導犬・聴導犬 </div> <ul style="list-style-type: none"> 内容によっては、資料が少なく、まとめる難しさを感じている児童もいたが、グループで取り組んだため、相互に情報を共有しながら、理解を深めていくことができた。 ・ 新聞にまとめよう（1学期） <ul style="list-style-type: none"> 調べ学習を通して、分かったことをもとに、他のテーマで取り組んでいる児童にも知ってもらいたいことを中心に新聞にまとめた。完成した新聞は、お互いに読み合い、コメントを書くことで、違うテーマの内容にも触れることができた。 			
<p>3 福祉教育の成果と今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5年生では、総合的な学習の時間に「福祉」をテーマに学習を進め、多くの児童の意識は高まった。 ・ コロナウイルスによる影響で、予定していた福祉実践教室が中止となり、講義を聞いたり、実際に体験したりするような活動の場を持つことができなかった。限られた中で時間と情報を有効に活用し、福祉についてより深く理解していけるよう今後も見つめる心と実践力をつけていきたい。 			



令和 3 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立三条小学校	学校No.	34
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制） 総合的な学習の時間における、福祉に関する学習</p> <p>【目的】 福祉に関する調べ学習を通して、社会福祉への関心を高めるとともに、「豊かな人間性」や「共に生きる力」を育むこと</p> <p>【活動対象】 4年生</p>			
<p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録） 総合的な学習の時間における、福祉に関する学習</p> <p>①図書館での調べ学習 福祉学習への入り口として、図書室で福祉について調べた。</p> <p>②インターネットを活用した調べ学習 図書室で調べた中で、興味を持ったことについて、インターネットを使ってさらに詳しく調べた。</p> <p>③福祉実践教室 グループごとに手話、点字、車いす、視聴覚障がい者ガイドヘルプの各体験を通し、見えない、聞こえないことの困難さを知り、様々な特性を持った人たちと共に生きる力を育んだ。</p> <p>④壁新聞形式での発表 学年廊下に掲示して、他のグループの児童が調べ、学んだ内容を共有した。</p>		 	
<p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>【成果】 校内での調べ学習については、児童は意欲をもって調べ、まとめ、発表することができた。知識として福祉について知ることができた。 福祉実践教室では、手話、車椅子、点字のグループに分かれて体験をした。子どもたちは講師の先生の話をも真剣に聴いたり、初めて使う道具や手話に戸惑いながらも集中して活動することができた。</p> <p>【課題】 昨年よりは体験活動を通して学ぶ機会を設けることができたが、豊かな人間性や共に生きる力を育てるには、さらにさまざまな体験活動を取り入れる必要があると感じた。</p>			

令和3年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立小信中島小学校	学校No.	35
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>(1) 目 標 福祉の町として、住みよい街づくりをするために自分たちにできることは何かを考えさせ、福祉に関する実践力を高める。</p> <p>(2) 計 画 福祉について知る・福祉実践教室の開催・一人暮らし老人の方へ年賀状・養護老人ホームへの見学・体験、総合学習での追究</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>(1) 福祉について知る 福祉の新聞記事を読んだり、インターネットを使ったりして、地域の福祉の実態や取り組みについて調べるなどした。また、書籍を購入し、調べ学習に生かせるようにした。</p> <p>(2) 福祉実践教室の開催 1月 認知症理解は全員、車椅子・手話・ガイドヘルプ・高齢者疑似体験の中から1つ選び、体験を行った。</p> <p>(3) 校区内にある高齢者特別養護老人ホームの見学・体験 11月 コロナのため中止。</p> <p>(4) 一人暮らしの老人の方へ年賀状をおくる 12月 一人暮らしの老人の方々に孫になったつもりで、楽しいイラストや温かな文面で年賀状をかいた。</p> <p>(5) 総合的な学習の時間での追究 福祉の新聞記事、インターネットを使った調べ学習で、疑問に思ったことやもっと調べたいことなどから、テーマを決めた。その後、インターネットや本を使った情報収集、同じテーマをもった子たちとの情報交流などを行い、様々な表現手段を用いて模造紙にまとめ、発表を行った。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題 調べ学習等を通して、福祉に対しての理解が深まった。そして、障害のある人の気持ちに気づき、共に生きるために自分ができることを考えようとする児童や地域の福祉施設について関心を持つ児童が増えてきた。 今年度は、施設見学・体験がコロナのため中止となったが、福祉実践教室を実施することができた。福祉実践教室を通して、障害のある人の気持ちをより深く感じることができた。来年度は、施設見学・体験ができるとよいと思う。 今後も「福祉」に対する理解を深める指導を継続していくとともに、生活の中で障害者の方に出会ったとき、学習したことが活かされるようにしていきたい。</p>			

令和3年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書 No.36

学 校 名	一宮市立朝日東小学校	委嘱年度	令和3年度
1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）			
【学校教育目標】		【福祉教育目標】	【重点事業】
<p>「もっといい自分」を目指す 心豊かでたくましい朝東の子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いのちを大切に、心と体を鍛え、たくましく生きる子 ○ きまりを守り 人と協力できる子 ○ やさしく 思いやりのある子 		<p>児童の社会福祉への理解を一層深め、体験活動を積み重ねることができるような行事等を計画し実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつ運動 ○ 社会福祉体験活動 ○ 地域の講師を招いた体験活動（華道） ○ 募金活動 ○ 見守り隊感謝の会
2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）			
<p>今年度も、新型コロナウイルス感染症への対応で、地域の方を招いたり、地域へ出かけたりする活動、大勢の人が集まる活動を行うことができなかつたが、校内において可能な限り、工夫をして活動を行った。</p>			
【1月2日 福祉実践教室 5年生】			
<p>5年児童を対象に、車いす体験、点字体験、視覚障害者ガイドヘルプ、手話体験の4つの内容で実施した。事前に福祉実践教室テキスト「思い出してごらん」を活用し、ねらいを確認した後、実際の体験を行った。児童は、車いすの扱い方を学び、乗り方、降り方、段差での操作の仕方などを体験した。車いすでは、小さな段差を乗り越えることすら難しいこと、介助のしかたによって乗っている人に不安を与える場合があることなどに気づいた。</p>			
<p>学習や体験を通して学んだことを、実際の場で生かそうという思いをもった児童が多かつた。</p>			
			<p>ガイドヘルプ体験</p>
【2月1日 華道体験 6年生】			
<p>6年生を対象に、地域の講師の方を招いて華道体験を実施した。総合的な学習の一環として、日本の伝統文化を体験する目的で、華道に取り組んだ。講師の方から講話を聞いた後、華道体験に取り組んだ。児童は、講師の方の指導を聞きながら、各々の発想で花を生けていった。6年生の児童にとっては貴重な体験となった。</p>			
			<p>華道体験</p>
【3月3日 見守り隊感謝の会 全学年】			
<p>今年度も登下校を見守ってくださった見守り隊の方々へ感謝を伝えるため、「感謝の会」を開いた。お世話になった見守り隊や駐在所の方々に、手紙や花束などを手渡して、1年分の感謝を伝えた。下校の際には、児童から見守り隊の方々に「見守ってくださってありがとうございました。」と自主的にお礼を言う姿も見られた。</p>			
			<p>見守り隊感謝の会</p>
3. 福祉教育の成果と今後の課題			
<p>今年度も活動に制約があり、例年通りの取り組みはできなかつたが、できる範囲での活動を通して、相手を思いやる心の育成や、地域社会とのつながりを意識させることができた。</p>			
<p>来年度も、福祉実践教室や地域の方との関わりを通して、児童に相手を思いやる心を育成したり、地域社会の一員としての自覚を高めさせたりしていきたい。</p>			

令和3年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立朝日西小学校	学校No.	37
-------	------------	-------	----

1 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）

- ・目 標：実践活動を通して、社会福祉への解と関心を高め、進んで地域社会に奉仕しようとする心を育てる。
- ・計 画：教室環境整備、学校内の美化活動、園芸栽培活動
- ・推進体制：社会福祉部会を組織し、計画的に実践する。

2 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）

<教室環境整備>

- ・学校公開に向けた環境整備のため、各教室に置く花鉢を購入した。（写真①）
- ・今年度から導入された一人一台の端末を安全に保管するために、エコバスケットを購入した。（写真②）

<学校内の美化活動>

- ・資源回収に出す古紙や段ボールを束ねるために、束ねるラップを購入した。（写真③）

<園芸栽培活動>

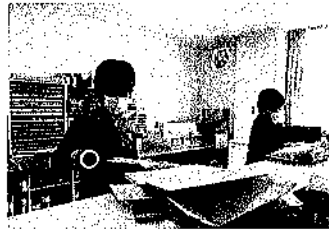
- ・校門の周りや校内の学年園に植える花や野菜の苗を購入し、潤いある環境づくりに努めた。（写真④）



写真①



写真②



写真③



写真④

3 福祉教育の成果と今後の課題

(1)成果

校庭や教室に花を飾ったり端末を整頓して置いたりしたことで環境が整い、児童が落ち着いていて生活できるようになった。また、児童が古紙や段ボールを手軽に束ねることができるようになり、清掃活動が一層充実したものになった。

(2)今後の課題

今年度もコロナ禍のため、例年行っているクリーン作戦や福祉実践教室などの活動ができなかった。今後は、コロナ禍でも取り組める活動を考え、実践していきたい。

令和 3 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立開明小学校	学校No.	3 8
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>（1）目標 高齢者や障害のある方との交流を通して社会福祉への関心を高め、児童が自分でできることを調査・追究することで、福祉実践力を養う。</p> <p>（2）計画 ○5年生児童を対象に、福祉実践教室に取り組む。さらに、総合的な学習の時間において、福祉についての学習に取り組む。 ○5・6年生児童を対象に、「開明地区ねたきり老人・ひとり暮らし老人あて愛の年賀状送付事業」に取り組む。 ○1・2年生児童を対象に、「しあわせはこぶ なえやさん」に取り組む。 ○全校で、赤い羽根募金・緑の募金活動に取り組む。</p> <p>（3）推進体制 該当学年・児童会を中心にして、また、取り組みによっては、PTA・地域の方々とも連携して推進する。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録） 今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行を受け、福祉実践教室では、5年生児童が、手話・点字の講習、車いす、視覚障害者ガイドヘルプ、高齢者疑似体験の活動を5月実施予定であったが11月に延期して行うことができた。総合的な学習の時間において、自分の設定した学習課題を調査・追究する学習を進め、社会福祉への関心を高めることはできた。11月の学校公開日の学習発表会において、保護者・地域の方々の前で、学習したことを発表する予定であったが、学習発表会は保護者のみの参観での発表となった。 10月3日（日）に児童会役員児童5名が、近隣のスーパーマーケットで、来店する方々に呼びかけ、赤い羽根共同募金「街頭募金運動」を計画していたが中止となり、校内で募金活動に取り組んだ。 11月中に、5・6年生児童が分担して、相手が喜ぶようにと心をこめて、開明地区の高齢者にあてた年賀状を作成した。取り組みを通して、地域の高齢者の数の多さを知り、改めて福祉への関心を高めていた。新年に返事が届いた児童は大いに感激していた。 例年、4月入学・進級早々、1・2年生児童は生活科の授業で花や野菜の種をまいて苗を育てている。6月5日（土）の学校公開日の「しあわせはこぶ なえやさん」で、保護者・地域の方々に育ててきた苗を購入してもらう予定であったが、保護者のみに配付するのみとなった。地域の方々の幸せを願い、その売り上げを社会福祉協議会に寄付する予定であったが、たいへん残念であった。 12月3日（金）からは、卒業する6年生に感謝の心を込めて、「感謝の気持ちを伝えよう 一人一鉢運動」に取り組み、卒業式場を花いっぱいにする事ができた。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題 それぞれの取り組みの意義をおさえての指導により、児童の福祉への意識は高まり、理解が深まっている。今年度は、新型コロナウイルスの影響で、様々な活動が実施できないことが多かったが、今後も、取り組みの一層の充実を図っていく。さらに、日常生活の中でも、相手を思いやる心をもとにした、よりよい人間関係づくりを進めさせていきたい。</p>			

令和 3 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立大徳小学校	学校 No.	39
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>(1) 目標 高齢者や障害のある方との交流活動やふれあいの機会を通して社会福祉への関心を高め、児童が自分でできることを調査・追究することで、福祉実践力を養う。</p> <p>(2) 計画 ○全校で、緑の募金活動に取り組む。 ○4年生児童を対象に、「福祉実践教室」に取り組む。あわせて、1学期の総合的な学習の時間において、福祉についての学習を進める。 ○2～6年生の児童を対象に、大徳・朝日支会のそれぞれの「愛の年賀状送付事業」に取り組む。 ○3・4年生児童を主体として、「一人一鉢運動」に取り組む。</p> <p>(3) 推進体制 該当学年・運営委員会・福祉環境委員会を中心にして、また、取り組みによっては、PTA・地域の方々とも連携して推進する。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録） 1学期に計画していたが、11月4日（金）に、4年生の児童が「福祉実践教室」を受講することができた。貴重な体験により、大切なことを学ぶ機会となった。 11月中に、2～6年生の児童が学級ごとに分担して、相手が喜ぶようにと心をこめて、大徳・朝日地区の高齢者にあてた年賀状を200枚作成した。取り組みを通して、地域の高齢者の数の多さを知り、改めて福祉への関心を高めていた。新年に返事が届いた児童は、とても喜んでいた。 11月から3月にわたり、3・4年生の児童を主体として「一人一鉢運動」に取り組んだ。成長したパンジーの鉢植えは、卒業式の会場を彩った。卒業式には在校生は参加しなかったため、在校生の思いが厚く込められたものとなった。今後、4月の入学式の会場を彩る。 例年、10月の大徳連区市民体育祭で、福祉環境委員の児童が「街頭募金運動」に取り組むが、昨年度に続いて、本年度も校内の募金運動に変更した。 例年、2月に計画している「感謝の会」を本年度も中止し、米づくりボランティア・登下校の見守り隊の方々を学校に招くことはできなかったが、児童は日ごろの感謝の気持ちを表したメッセージカードを作成した。メッセージカードをお読みいただくことで、児童の気持ちが伝わった。 4年生の児童が「福祉実践教室」を受講できず、たいへん残念である。今後、実施できないものかと考えている。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題 それぞれの取り組みの意義をおさえての指導により、児童の福祉への意識は高まり、理解が深まった。次年度でも、取り組みの一層の充実を図っていく。さらに、日常生活の中でも、相手を思いやる心をもとにした、よりよい人間関係づくりを進めさせていきたい。</p>			

39 一宮市立大徳小学校HP

4/21 (水)「緑の募金 実施中」

4月21日 緑の羽根募金 実施中

緑青夏芸委員会の子どもたちが朝から募金を呼びかけてく
れました。

目的は「みんなの募金で花や木を増やし、地球の緑をいっ
ぱいにするごと」です。

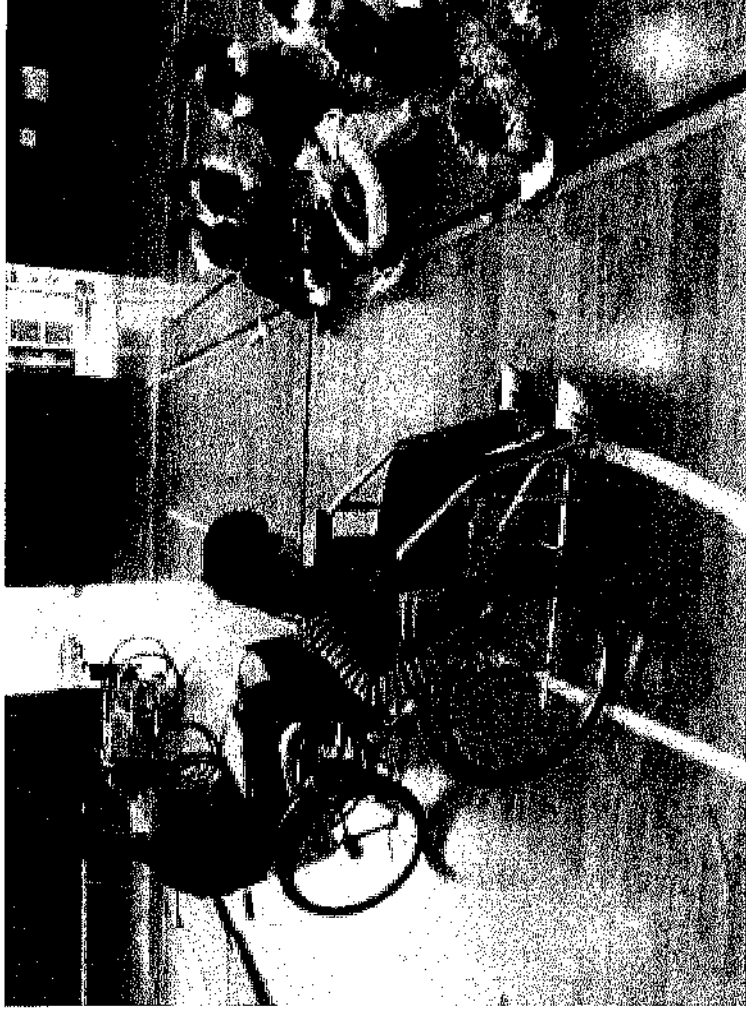
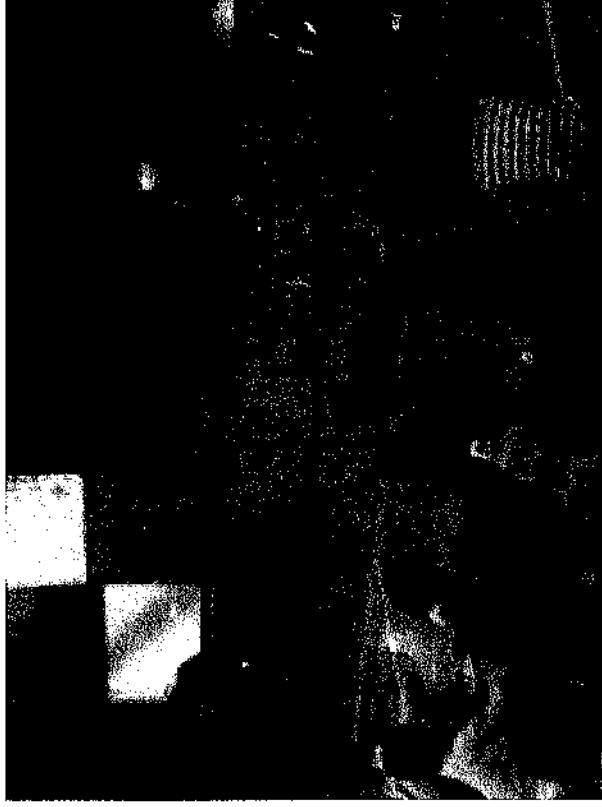
あさつでの23日(金)まで行っています。
ご協力をよろしくお願ひします。



【学校トビックス】 2021-04-21 09:27 up!



11 / 4 (金)「福祉実践教室を行いました」
福祉実践教室を行いました (R3.11.4)



11月4日(木)に福祉実践教室を行いました。初めに前大会では「バリアフリー」というテーマで全体講義を行いました。車いす等で生活している人や目の不自由な人が日々のような生活で苦労されているが、どんなことに気を付けたらいいかを教えていただきました。その後「車いす体験」「ガイドヘルプ体験」「高齢者疑似体験」の3つの講座に分かれ、それぞれ貴重な体験をさせていただきました。

【4年】 2021-11-04 22:17 up!

11/17 (水)「パンジーを植えました」

11月17日 パンジーを植えました 3年生

一人一鉢パンジーの苗を植えました。土をたつぶり、水をたつぶり、肥料を少々入れました。卒業式に会場を彩る花です。大きく育ちたくさんの花が咲くように、これから毎日、世話をしていきます。



【3年】 2021-11-17 14:29 upi

12/ 1 (水)「12月のPTAあいさつ運動」

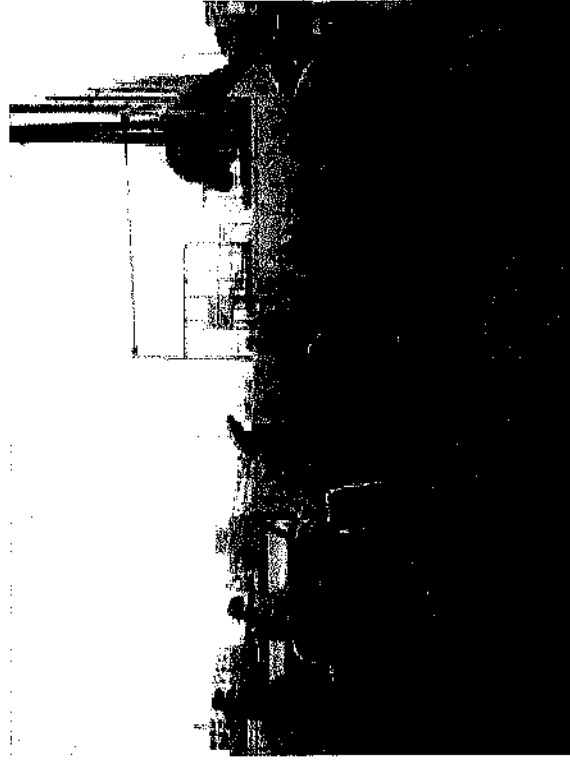
12月1日 12月の「PTAあいさつ運動」



11月に続いて、PTA理事・PTA生活委員の皆様の
ご協力によって、正門・南門での「PTAあいさつ運動」
を実施しました。子どもたちは笑顔であいさつをし、朝の
好スタートを切っていました。お忙しい中、ありがとうございます。

6年生と5年生の生活委員の子どもたちは、本日も校舎
の東側であいさつ運動を進めています。

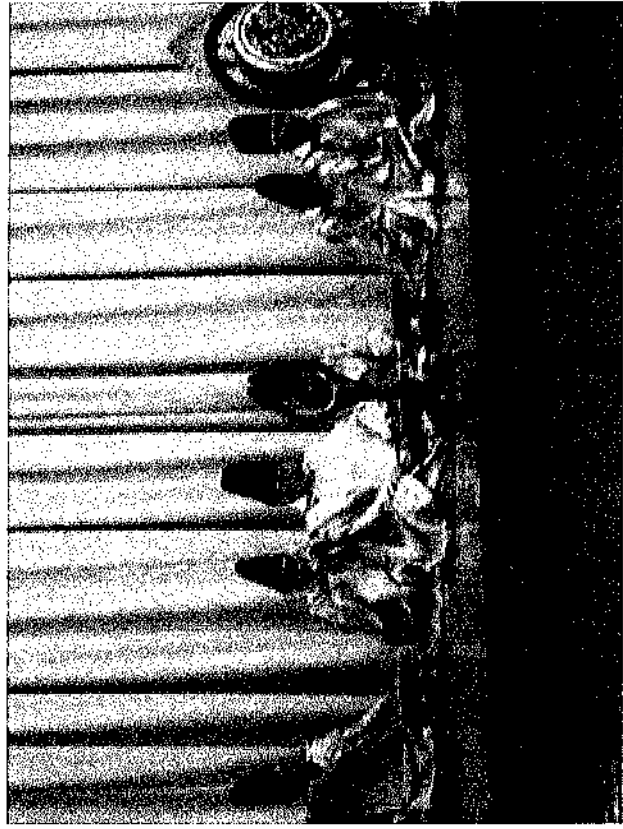
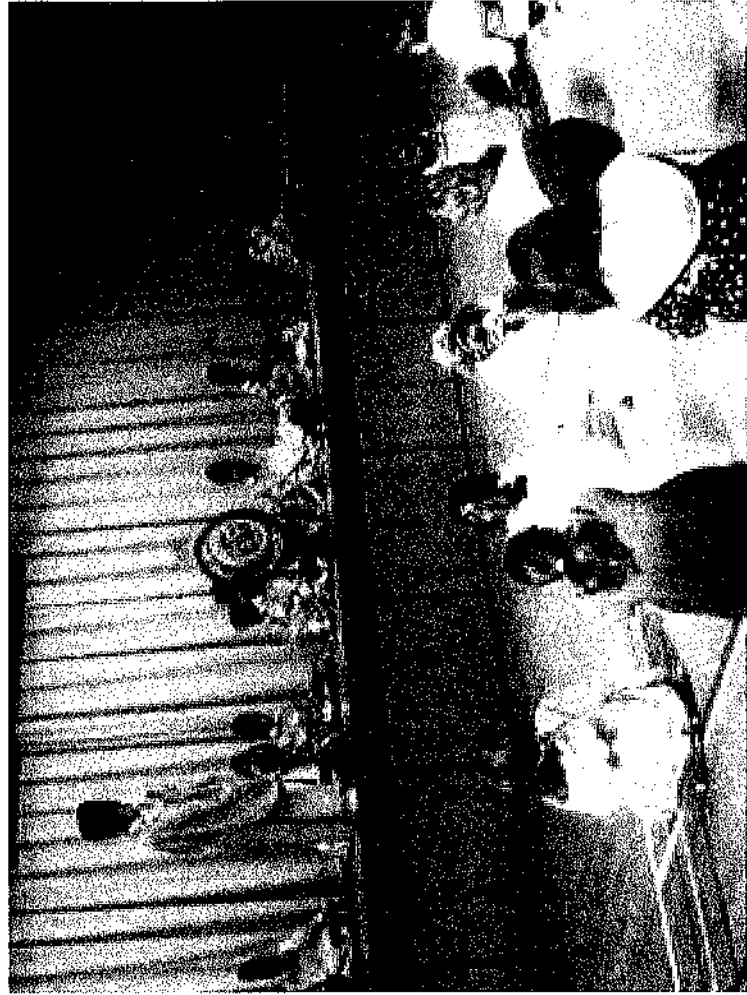
[PTA] 2021-12-01 08:27 Up!



12/15 (水)「雅楽教室」

12月15日 雅楽教室 6年生

きれいな音色に、迫力のある舞。目の前で繰り広げられる見事な演奏や演技に、みんな興味津々で見入っていました。テレビや、授業の資料では見たことはあっても、生で見るとやはり迫力が違います。とても良い経験をする事ができました。



【6年】 2021-12-16 08:45 up!

3/18 (金)「卒業式」

3月18日 第46回卒業式



令和3年度、第46回大徳小学校卒業式が行われました。あいにくの空模様でしたが、一人も欠席することなく、全員で卒業式にのぞむことができました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、在校生の参加は今年も見送りましたが、その分、体育館を広く使い、6年生の門出を祝いました。

【学校トピックス】 2022-03-18 15:45 up!

「一人一鉢運動」のたくさんのパンジーが、式場を彩りました。

令和3年度 一宮社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立黒田小学校	学校No.	40
-------	-----------	-------	----

1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）

(1) 目標「人の気持ちを理解し、思いやりを大切にする子の育成」

- ・教 科…自分の考えをもち、相手の気持ちや立場を理解する力を育てる指導法の研究
- ・道 徳…人との関わりに関することに重点を置いた道徳や命の教育の工夫
- ・特別活動…心のふれあいを大切にした福祉体験活動

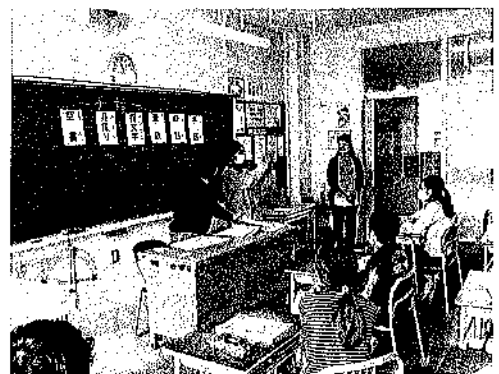
【福祉実践教室での様子】

(2) 計画

- ・福祉実践教室の実施 (11月…5年生)
- ・黒田小サロンでのふれあい活動(通年…1・2年生)
- ・人権教室の実施 (11月…2年生)

(3) 推進体制

人権・福祉係を中心に企画し、運営は全職員で実施する。



2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）

(1) 福祉実践教室

- ・実施日 11月9日(火)
- ・実施内容 手話・点字の体験

(2) 黒田小サロンでのふれあい活動

- ・実施期間 毎月第3火曜日の午前中
- ・実施内容 いきいき体操・ミニコンサート

(3) 人権教室

- ・実施日 11月19日(金)
- ・実施内容

人権擁護委員の方による講話、いじめ防止に関するDVD視聴

(4) 担任による道徳/各教科での授業

【黒田小サロンでの様子】



3. 福祉教育の成果と今後の課題

コロナ禍のため、黒田小サロンでの児童とのふれあい活動は行うことができなかった。5年生は、福祉実践教室で体験した手話・点字を中心に理解を深め、障害のある方が生活する上での苦労や工夫を知るとともに、気持ちを考えることができた。総合的な学習の時間の調べ学習では、福祉について本やインターネットで調べたことで、障害についての理解が深まった。その他の学年の児童においても、道徳などを通して障害のある方たちとともに社会に生きるために、自分たちにできることを考えることができた。

今後は、思いやりの心をもつ児童の育成をめざし、コロナ禍においても心のふれあいが広がる実践的な活動を考えていきたい。

令和3年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立木曾川西小学校	学校No.	41
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>(1) 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障害のある人との交流を通して、相手を尊重し思いやる心を育てる。 ・社会福祉について理解・関心を深め、福祉実践力を養う。 <p>(2) 計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り隊へのお礼の会（1年生）※ ・認知症サポーター養成講座（5年） ・福祉実践教室（5年） ・田植え、稲刈り、おにぎりパーティー（5年）※ ・募金活動（児童会） <p style="text-align: right;">⇒※は感染症対策のため未実施</p> <p>(3) 推進体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間、道徳、学級活動において全職員で実施する。 <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>○福祉実践教室（11月）</p> <p>5年生が、点字、高齢者疑似体験、手話、車いす、認知症理解の体験活動を行った。</p> <p>また、道徳の授業で社会福祉についての考えを深めた。</p> <p>○赤い羽根の募金活動（11月）</p> <p>児童会役員が、募金への協力の呼びかけを行い、全校児童で募金活動に取り組んだ。</p> <p>○人権週間での取り組み（6、12月）</p> <p>人権週間に全校児童が校長講話を聞いた。また児童会が呼びかけを行った。学級でも、ビデオ視聴を行ったり、道徳の授業を通して人権を守る取り組みを行ったりした。</p> <p>○戦争講話（12月）</p> <p>6年生が地域の方から戦争の話聞いた。</p> <p>○地域の歴史講話（12月）</p> <p>3年生が地域の方から、地域の歴史について話を聞いた。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>それぞれの発達段階に応じた活動を取り入れることで、児童の福祉に対する意識が高まった。総合的な学習の時間を利用して、福祉に関する事前の調べ学習を行ったため、児童の理解も深まったのではないかと考える。また、福祉実践教室で体験したことを通して、障害のある方に対する理解と接し方を学習することができた。すべての人に対して「思いやりの心」をもって接していこうという気持ちを育てることができたと感じている。</p> <p>今後、これらの活動で学んだことを、家庭や地域で実践できるように、児童の意識を高めていけたらと考える。</p>			

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

令和3年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立木曾川東小学校	学校No.	42
-------	-------------	-------	----

1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）

(1) 本校の福祉教育の目標

- ① 福祉に対する理解と関心を高め、進んで人や社会に関わろうとする意識を高める。
- ② だれに対しても優しく、思いやりのある態度で接し、自他ともに生命を尊重しようとする意識を高める。

(2) 実践方法

- ① 総合的な学習の時間や、道徳、学級活動、各教科との結びつきを考慮する。
- ② 体験的な学習を取り入れる。

(3) 計画

- ・福祉実践教室 ・福祉についての調べ学習
- ・ペットボトルキャップ回収活動 ・募金活動・使用済み切手回収運動

2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）

【手話】5年生
簡単な手話を学び、理解を深めた。

【視覚障害者ガイドヘルプ体験】5年生
お年寄りや目の見えない人の気持ちを知るために、器具をつけて校内を歩く体験をした。

【車いす体験】5年生
実際に車いすに触れ、操作方法を体験した。

【高齢者疑似体験】5年生
関節に重いサポーターをつけ、高齢者の自由がきかない体を体験し、理解を深めた。

【認知症理解】5年生
認知症についての話と防止方法のトレーニングを体験し、理解を深めた。

【福祉についての調べ学習】5年生
福祉実践教室での体験や新聞、インターネットなどを使って調べたことをもとにまとめた。

【ペットボトルキャップ回収活動】全校
環境・美化委員会が中心となって全校児童に呼びかけ、1年を通して回収活動を行った。

【募金活動・使用済み切手回収運動】全校
募金は児童会が呼びかけ、使用済み切手回収はPTAと協力して、全校で取り組んだ。

3. 福祉教育の成果と今後の課題

5年生の福祉実践教室では、実際に体験することにより、障害のある人の願いや大変さが分かり、理解を深めることができた。全校で取り組んでいるペットボトルのキャップ回収活動では、PTAと協力し、自分たちの手で世界の恵まれない子を救済するという意識をもつことができた。

今後も、福祉に対する理解を深め、日々の生活の中で誰に対しても、優しく、思いやりをもって接する態度が育まれるよう支援していきたい。さらには道徳、学級活動、各教科にも積極的に福祉に関わる学習を取り入れていきたい。

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。